

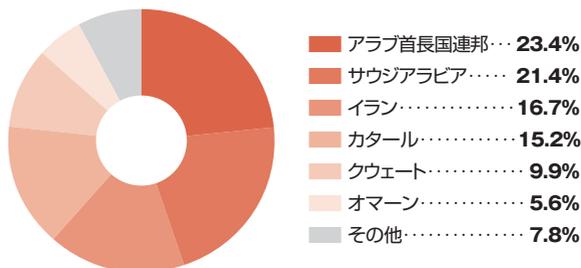
【原油生産】

産油国の原油生産における環境負荷の低減に努めています。

原油の輸入状況

コスモ石油では、アラブ首長国連邦、サウジアラビア、イラン、カタール、クウェート、オマーンなどの国々から原油を輸入しています。そのうち、原油輸入国第1位であるアラブ首長国連邦のアブダビ首長国で、1960年代より原油開発を行い、1968年にはアブダビ石油を設立しました。

■ コスモ石油2003年度 国別原油輸入比率

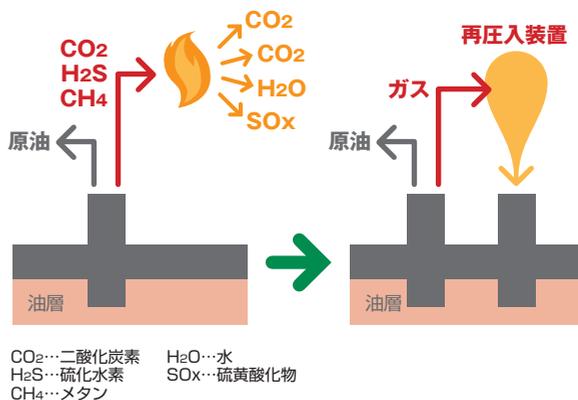


ゼロフレアプロジェクトの効果

コスモ石油の子会社であるアブダビ石油とその関連会社が運営しているムバラス油田、AR油田※1、GA油田※1では、これまで大気中で燃焼させていた随伴ガス※2を大型コンプレッサーで地下の油層に全量再圧入することにより、SOxやCO2を排出しない「ゼロフレア化」（フレアとは随伴ガスを燃やした炎のこと）を2001年5月に達成しました。

このプロジェクトの完成により、大気汚染の防止に貢献するだけでなく、年間20万トンのCO2相当量の温室効果ガスを削減しています。これは、東京ドーム約12,000個分の森林が吸収するCO2量に匹敵します。

■ ゼロフレアプロジェクト概念図



ゼロフレアの第一段階であるサワーガス圧入プロジェクトは、アブダビ国営石油会社（ADNOC）から高い評価を受け、2000年度の「ADNOC HSE AWARD」では、参加申請62件中最高位の「最高賞」を受賞しました。



■ ゼロフレアプロジェクトの実施前と実施後



実施前



実施後

※1 AR油田、GA油田

- AR油田…ウム・アル・アンバー油田の略称。
 - GA油田…ニーワット・アル・ギャラン油田の略称。
- アブダビ石油とその関連会社であるムバラス石油では、ムバラス、AR、GAの3油田を運営し、これらから生産する原油を混合して「ムバラスブレンド」として出荷しています。

※2 随伴ガス

油田から原油生産に伴って出るガス。サワーガス、スイートガスの2種類があり、硫化水素やCO2などの酸性ガスを多く含むものをサワーガスといいます。